



公明党府議会議員団 副団長  
八重樫 善幸

## 大阪の成長は、 観光、文化・芸術振興、ジェンダー平等で

ありのままの大阪文化に触れる工夫が  
今後の観光戦略!

◎大阪のインバウンド戦略として、欧米やオーストラリアからの観光客をどのようにして誘客していくのか。

**A** 【企画・観光課長】

◎欧米からの観光客の関心が高い歴史や文化に加え、スポーツ、自然、温泉や食などの、大阪が持つ様々な観光魅力を情報発信するとともに、欧米で開催される旅行博などにおいて、プロモーション活動を行っている。

◎来年度に新たな都市魅力創造戦略の策定を予定しており、その中で、欧米を含めたより幅広い国・地域からの誘客についても、しっかりと検討を行う。

◎普段のありのままの大阪の姿に愛着を感じていただけるよう、歴史、文化、街並みなどに触れる取り組みにシフトすべき。そのためには、英語でそのコンテンツの魅力がわかるよう伝える工夫が必要。

また、日本にきている留学生が活躍できる仕組みを作ることも戦略と思うが、次の戦略をどうするのか。

**A** 【府民文化部長】

◎大阪の魅力として、大阪の食を楽しみに来ているインバウンドの方も多し。現状では、粉ものなどに人気集中しているが、だし文化、つまり日本料理、あるいは割烹料理。天下の台所であり、食い倒れと言われている。欧米からのお客さんにもこのマーケットを開いていきたい。また、祭り文化など地域に根ざして生きているものを打ち出し、取り入れて、戦略を策定していく。

**【提案】** 今後欧米豪の観光客を引き込むため、英語でどこでもいける、言葉のインフラ整備が必要。



大阪が誇る文化力を  
活用した魅力ある都市の創出へ

◎文化振興は、「文化芸術に携わる人を支援すること」と「新たに文化芸術に触れる人を増やすこと」の2つが重要。今後、さらに府の政策を充実するため、どう取り組むのか。➤

➤ **A** 【府民文化部長】

◎大阪にとって大事なことは、より多くの人に文化に触れてもらうこと。(東京に比べて触れる機会が少なく、劇場も少なく、見る機会もなく、披露する機会も少ない。)

◎もう一点の文化の担い手をどう育成するか。いろいろな形の発表の場を作っている。これからも文化振興にしっかりと取り組んでいく。

**【提案】** 大阪府の文化振興施策は、予算額が小さすぎる。「大阪が誇る文化力を活用した魅力ある都市」を目指すのであれば、必要な予算をしっかりと獲得すべき。

ジェンダー平等が推進される  
街が大阪を成長させる!

◎SDGsの取り組みからもジェンダーギャップは最優先で取り組まねばならない課題。大阪の成長という観点からも、女性の意思決定過程への参画を上げる事が経

済成長の観点からも重要。女性が活躍する大阪を実現するためには何をすべきと考えているのか。

**A** 【府民文化部長】

◎平成29年の数値でも、女性の就業率も全国ワースト3であり、今後もさらなる取り組みや周知・啓発が重要。

◎現在、新たなプラン策定を進めているが、社会のニーズや新たな動きを踏まえた実効性のあるものにする。強い思いを持って府民や事業者、民間団体等の方々と連携・協力しながら、女性が持てる力を存分に活かし、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪の実現に向け、取り組みを進めていく。



岡本府民文化部長

**【提案】** ダイバーシティの取り組みは、優秀な人材の採用や強い顧客志向、従業員満足度の高まり、意思決定の改善につながる。

◎持続可能な社会の創出に向けて、(ジェンダー平等の取り組みも含め)プランで明確に示し、大阪府の本気度を見せるべき。

### ■八重樫 善幸・プロフィール

大阪府議会議員4期。  
公明党大阪府議会議員団 副団長。府民文化常任委員会 委員。大阪府議会日口友好親善議員連盟 副会長。大阪府私立幼稚園振興議員連盟 副会長。大阪日口協会 理事。関西宮澤賢治の会 副会長。  
岩手県北上市出身、県立黒沢尻北高、国立岩手大学農学部農芸化学科(生化学研究室)卒業。外資系製薬会社でMR、マーケティングに従事。

やえがし善幸 公式ホームページ

<https://www.yaegashi-y.jp>

